

【アイドリングストップ支援機器 別紙1 記載例】

上限台数:1事業者、5台まで。
(但し、蓄熱マット等は1事業者3台まで。)

※各記入事項を漏れなく記入してください。

受付窓口にて記入。

請求明細書に記載されている金額(税抜き)単価をそれぞれ記入。

国の補助制度を受けているときは“有”に○印。
※“有”の場合は全ト協分の補助対象外です。

◎補助金額の計算について
※1,000円未満切捨。各機器種類による補助上限金額有。

①No. 1 蓄熱マット等 対象額15,000円の場合
東ト協のみ = $(15,000 \times 1 / 2 = 7,500円) \rightarrow 7,000円$
≪蓄熱マット等 1/2額か、上限15,000円の低い方≫

②No. 2 蓄熱マット等 対象額33,500円の場合
東ト協のみ = $(33,500 \times 1 / 2 = 16,750円) \rightarrow 15,000円$
≪蓄熱マット等 1/2額か、上限15,000円の低い方≫

③No. 3 エアヒータ 対象額171,000円の場合
全ト協のみ = $(171,000 \times 1 / 2 = 85,500円) \rightarrow 85,000円$
≪エアヒータ 1/2額か、上限120,000円の低い方≫

④No. 4 車載バッテリー式冷房装置 対象額250,000円の場合
全ト協のみ = $(250,000 \times 1 / 2 = 125,000円) \rightarrow 120,000円$
≪車載バッテリー式冷房装置 1/2額か、上限120,000円の低い方≫

別紙1
アイドリングストップ支援機器 車両別請求内訳
会社名 **株式会社 ☆☆輸送**
導入営業所名 **本社営業所**

平記載不月要日

No.	アイドリングストップ支援機器導入機器内容					装着車両内容		
	導入機器 (該当機器を○印で囲む)	メーカー名 機器名(型式)	補助対象経費 本体購入価格 (税抜)	トラック協会 請求金額(円)	導入日	国の補助 制度利用 有無 (注1)	車両型式 (PK-, BDG-等)	登録番号
1	蓄熱マット等	A社	15,000	7,000	H26.6.4	有 ○無	PB-	品川100あ △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置	あったかマット (SW-EP3)						
2	蓄熱マット等	B社	33,000	15,000	H26.6.26	有 ○無	PA-	品川400い △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置	ホットマット (HOK-AB)						
3	蓄熱マット等	C社	171,000	85,000	H26.7.7	有 ○無	ADG-	品川100い △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置	エアヒータ (K-34Z)						
4	エアヒータ	D社	250,000	120,000	H26.7.20	有 ○無	PKG-	品川100か △△△△
	車載バッテリー式冷房装置							
5	エアヒータ					有 無		
	車載バッテリー式冷房装置							
計			227,000					

機器対象のメーカー名・機器名、型式を記入。

該当の機器の種類を○印で囲む。

注1) 国の補助を受けた場合、全ト協補助分は対象外。

補助金合計額を記入。(【様式1】1. 請求金額と同じ額)

※ 補助台数は1社5台まで。但し、蓄熱マット等は1社3台まで。また、車両1台につき機器は1台まで。

◎エアヒータ・車載バッテリー式冷房装置の補助を受ける場合は“別紙 誓約書”の原本を添付してください。